

国立代々木競技場を *Turn Yoyogi National Gymnasium into World's Gymnasium* 世界遺産へ

日時：2021年9月2日(木)

開場 PM1:00 開演 PM1:30

Period: September 2, 2021 Door open PM1:30 (JST)

場所：六本木アカデミーヒルズ タワーホール (六本木ヒルズ森タワー 49階)

主催：一般社団法人国立代々木競技場世界遺産登録推進協議会

Organization: General Incorporated Association Yoyogi National Gymnasium Steering Committee for World Heritage Nomination

入場料：無料 (要事前申込・抽選)

募集人数：100名

Admission Free / PRE-ENTRY RAFFLE



ダイナミックな外観と壮大な内部空間を有する戦後建築の金字塔、国立代々木競技場。

1964年開催の東京オリンピックに際し、国立代々木競技場は水泳競技・バスケット競技会場として建設された建築家丹下健三の代表作です。2021年開催の東京オリンピック・パラリンピックではハンドボール会場・ウェルチアラグビー会場として活用され、建設当時の美しい姿を今日に伝えています。この施設は東京オリンピックのレガシーとしてのみならず、20世紀建築の傑作として高く評価され、2021年5月に国の重要文化財に指定されました。

DOCOMOMO 国際会議 2020+1 東京大会に合わせてシンポジウムを開催し、国立代々木競技場の世界遺産登録を向けての展望と課題について、パネリストの皆さん、会場に皆さんと議論を深めたいと思います。

Yoyogi National Stadiums - this dynamic edifice emerged after the war majestically invited the spectators from the world into its symphonic interior space for the 1964 Tokyo Olympic games. This monumental architecture, designed by an architect, Kenzo Tange together with a structural engineer, Yoshikatsu Tsuboi, was constructed originally to host the swimming and basketball competitions for Tokyo's first Olympic games. Ever since, the stadiums have been the major arena for numerous events and are used for handball and wheelchair rugby matches during the Tokyo Olympics and Paralympics in 2021. The building is not only a precious legacy of the Tokyo Olympics but also a masterpiece of 20th-century architecture. The complex was designated a National Important Cultural Property in May 2021.

Coinciding with the DOCOMOMO International Conference 2020+1 Tokyo, we would like to hold a symposium to discuss the nomination of Yoyogi National Stadium with the panelists and participants for enlisting the World Heritage List.

国立代々木競技場を Turn Yoyogi National Gymnasium 世界遺産へ into World's Gymnasium

● 登壇者 Panelist

楨 文彦 Fumihiko Maki
建築家・元東京大学教授

隈 研吾 Kengo Kuma
建築家・東京大学特別教授・名誉教授

後藤 治 Osamu Goto
建築史家・工学院大学理事長

● 司会 Moderator

豊川 斎赫 Saikaku Toyokawa
日本イコモス ISC20C 主査・千葉大学准教授



楨 文彦 Fumihiko Maki
©Kaoru Hirano



隈 研吾 Kengo Kuma
©J.C. Carbonne



後藤 治 Osamu Goto

プログラム ※同時通訳付き
Program ※simultaneous translation

第1部 ●PM1:30～
第1回 国立代々木競技場世界遺産
登録推進シンポジウム

キーノートスピーチ 楨 文彦
「現代建築の今」

講演1・隈 研吾
「代々木競技場と国立競技場」

講演2・後藤 治
「世界遺産登録と代々木競技場」

ディスカッション

質疑応答

Part1 ●PM1:30～
The First Symposium for World
Heritage Nomination Promotion
of Yoyogi National Gymnasium

Keynote speech Fumihiko Maki
Lecture 1・Kengo Kuma
Lecture 2・Osamu Goto
Discussion
Q&A

第2部 ●PM3:40～PM4:10
第16回 DOCOMOMO 国際会議
2020+1 東京 閉会式

Official website
<https://docomomo2020.com/>



Part2 ●PM3:40～PM4:10

Closing Ceremony

The 16th International Docomomo
Conference Tokyo Japan 2020+1
Inheritable Resilience: Sharing Values
of Global Modernities

◎会場アクセス

六本木アカデミーヒルズ
タワーホール
東京都港区六本木6丁目10番1号
六本木ヒルズ森タワー 49F
ROPPOINGI ACADEMYHILLS
Tower Hall

●東京メトロ 日比谷線
「六本木」駅 1C 出口より徒歩 3 分
(コンコースにて直結)

●都営地下鉄 大江戸線
「六本木」駅 3 出口より徒歩 6 分

●東京メトロ 南北線
「麻布十番」駅 4 出口より徒歩 12 分

●都営地下鉄 大江戸線
「麻布十番」駅 7 出口より徒歩 9 分

●東京メトロ 千代田線
「乃木坂」駅 5 出口より徒歩 10 分

【お申込み方法】

本シンポジウムは、会場において対面で行われます。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ソーシャルディスタンスの配席で開催致します。会場内の人数を制限する必要があるため、応募多数の場合は、抽選とさせていただきます。抽選結果は、8月26日(木)までにご登録いただいたメールアドレスにご連絡いたします。なお、ご当選されなかった方にはオンラインによる配信を予定しております。

1) 会場での聴講申し込み (抽選)

① Google form よりお申し込みください。返信メールをご確認いただき、完了となります。

<https://forms.gle/Cna587eb6rAzY94n8>



② メールでのお申込み (抽選)

ご応募者全員の氏名 / 人数 (1申し込みにつき2名まで) / メールアドレスを明記の上、info@anyjapan.net までメールでお送りください。

※携帯メールアドレスのみの方は、ドメイン【anyjapan.net】を指定受信設定にしてください。

※会場に参加希望をいただいた方への注意事項
・当日は、会場にてオンライン配信用のカメラが設置されるほか、報道機関の取材が入る場合があります。配信や報道に顔が写り込む可能性があります。ご了承の上お申し込みください。

・2週間以内に37.5度以上の発熱・咳・倦怠感・風邪症状などの体調不良があった場合はご来場を控えてください。

・シンポジウム当日は、手指の消毒、検温にご協力いただけます。会場で測定した体温が37.5度以上の場合には入場お断りさせていただく場合があります。また、会場内ではマスクを常時着用いただけます。

・新型コロナウイルスの感染状況により、会場での開催を急遽取りやめる場合があります。その際は事務局からのメールでご連絡させていただきます。

お問合せ：国立代々木競技場世界遺産登録推進シンポジウム事務局
info@anyjapan.net

共催：第16回 DOCOMOMO 国際会議 2020+1 東京実行委員会

一般社団法人 DOCOMOMO Japan

Co-Organization: The 16th International Docomomo Conference Tokyo Japan 2020 National Executive Committee, DOCOMOMO Japan

特別協賛：森ビル株式会社 Presenting Sponsor: MORI BUILDING

協力：ワールド・モニュメント財団、アメリカン・エキスプレス

Sponsor: World Monuments Fund, American Express

